

ニッポン中小型株ファンド

追加型投信／国内／株式

投資者の皆さまへ
販売用資料
2022年4月



日本の確かな成長を探し出す。

■資料の作成、設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お申込みの際には、「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずご覧ください。

特色 1

わが国の中小型株に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

- 当ファンドは「ニッポン中小型株マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
- わが国の全上場株式（上場予定を含む）のうち、相対的に時価総額の小さい株式を主要投資対象とします。

特色 2

綿密な企業調査に基づくボトムアップ・アプローチにより、利益成長および成長の持続性等を勘案したファンダメンタルズ価値に対して、株価水準が割安と判断する銘柄に投資します。

特色 3

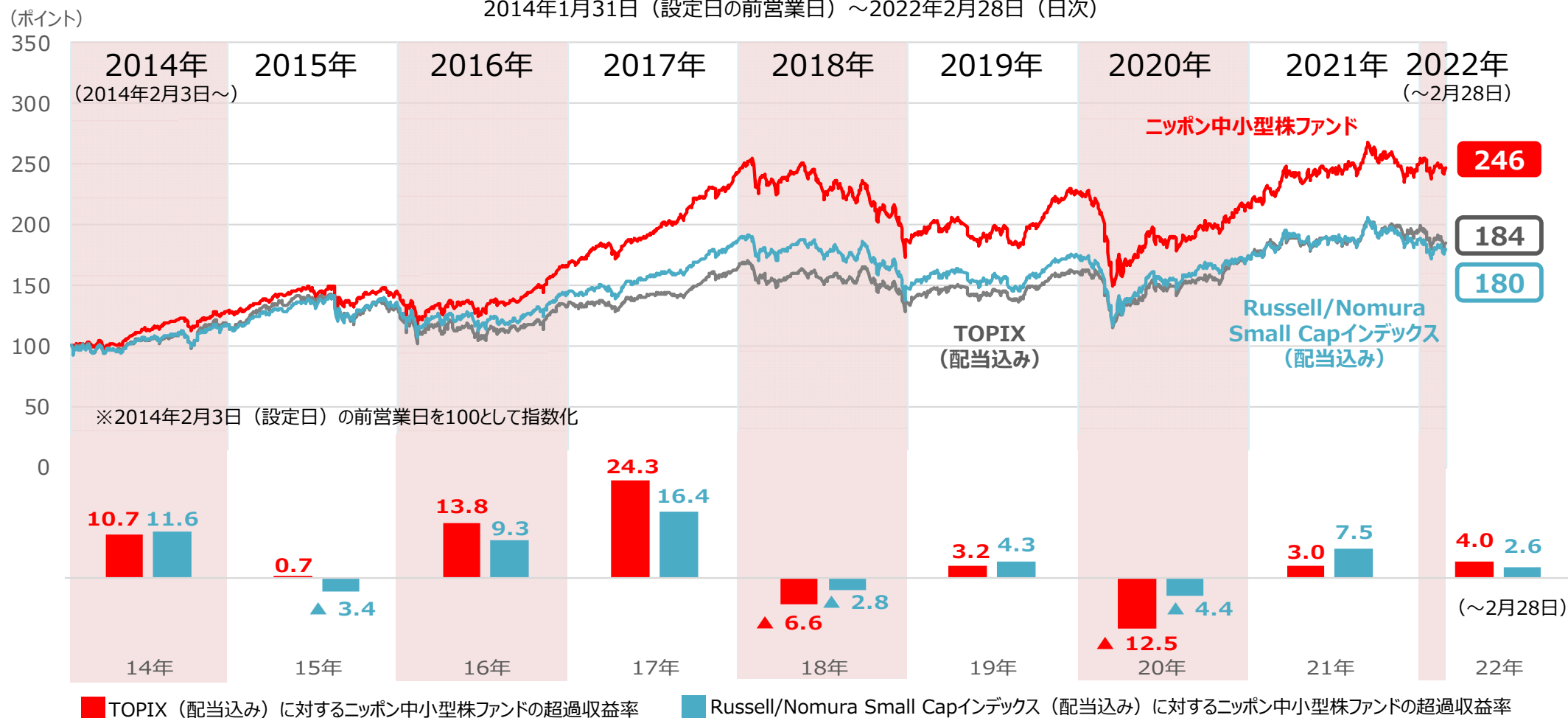
年1回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。

- 決算日は、毎年2月2日（休業日の場合は翌営業日）とします。
- 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向、残存元本等によっては、ならびにやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

ファンド設定来のパフォーマンス

＜ニッポン中小型株ファンド等のパフォーマンスと各インデックスに対する超過収益率（％）＞
2014年1月31日（設定日の前営業日）～2022年2月28日（日次）



(注1) ニッポン中小型株ファンド（以下、当ファンド）は税引前分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）。税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注2) TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。Russell/Nomura Small Capインデックス（配当込み）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用、税金などがかかる場合があります。詳しくは13ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

過去約15年は小型株優位

過去約15年の国内株式市場は**小型株のパフォーマンスが相対的に高い**結果となっています。

日本株のスタイル・インデックス比較

当ファンドは**中小型バリュー株を中心に投資**

<2007年～2022年* (年次) *ただし、2022年は2月末まで>

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計
高	大型バリュー ▲8.9	小型バリュー ▲28.3	大型バリュー 13.2	小型バリュー 5.1	小型グロース ▲5.7	大型バリュー 21.5	小型グロース 56.6	小型バリュー 14.2	小型グロース 19.1	小型バリュー 7.1	小型グロース 34.5	大型バリュー ▲15.2	大型グロース 24.5	大型グロース 23.7	大型バリュー 20.2	大型バリュー 2.1	小型バリュー 97.6
	総合 ▲10.6	大型バリュー ▲40.4	小型バリュー 8.9	小型グロース 2.1	小型バリュー ▲7.6	総合 20.2	大型グロース 55.0	大型グロース 12.4	小型バリュー 14.3	大型バリュー 1.3	小型バリュー 27.8	大型グロース ▲15.7	小型グロース 22.7	総合 8.0	総合 12.9	小型バリュー ▲0.6	総合 55.7
	大型グロース ▲10.7	総合 ▲40.9	小型グロース 8.5	大型バリュー 1.6	大型グロース ▲15.7	大型グロース 19.7	大型バリュー 54.5	小型グロース 11.2	大型バリュー 12.6	小型グロース 0.9	大型グロース 24.3	総合 ▲16.1	総合 18.7	小型グロース 6.1	小型バリュー 11.4	総合 ▲5.7	小型グロース 55.0
	小型バリュー ▲13.1	小型グロース ▲42.8	総合 8.0	総合 1.4	総合 ▲16.8	小型バリュー 18.1	総合 54.5	総合 10.3	総合 12.3	総合 0.5	総合 22.3	小型グロース ▲17.7	大型バリュー 13.4	小型バリュー ▲5.1	大型グロース 7.8	小型グロース ▲9.6	大型グロース 50.4
低	小型グロース ▲21.5	大型グロース ▲44.4	大型グロース 3.5	大型グロース 0.5	大型バリュー ▲21.7	小型グロース 17.9	小型バリュー 51.5	大型バリュー 6.9	大型グロース 10.9	大型グロース ▲1.7	大型バリュー 17.6	小型バリュー ▲21.3	小型バリュー 13.4	大型バリュー ▲5.6	小型グロース 2.9	大型グロース ▲12.6	大型バリュー 46.6

(注) 総合：Russell/Nomura総合インデックス（配当込み）、大型バリュー：Russell/Nomura大型バリュー・インデックス（配当込み）、大型グロース：Russell/Nomura大型グロース・インデックス（配当込み）、小型バリュー：Russell/Nomura小型バリュー・インデックス（配当込み）、小型グロース：Russell/Nomura小型グロース・インデックス（配当込み）。いずれも当ファンドのベンチマークではありません。

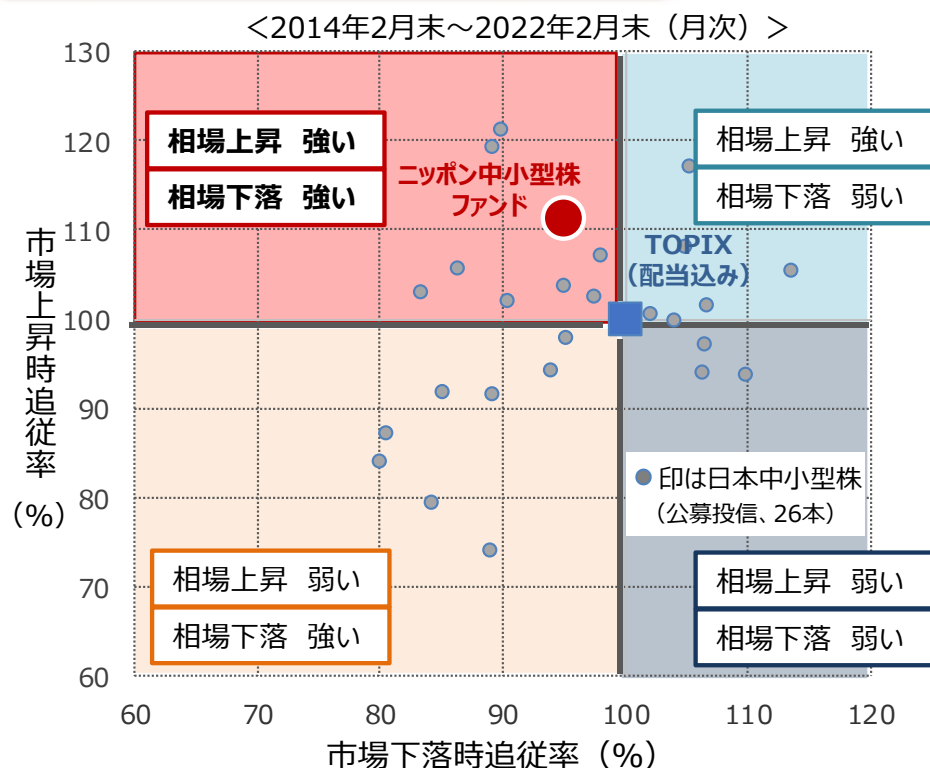
(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。

当ファンドの運用の特性

当ファンドは、日本の株式市場が下落した局面ではTOPIXより下落率が小さく、相対的に『**相場下落に強い**』動きを示してきました。
 当ファンドは、日本の株式市場が上昇した局面ではTOPIXを上回る上昇となりました。

市場との連動性（市場追従率）



当ファンドのこれまでの運用は、

- TOPIXの下落時は、TOPIXの95%程度下落
- TOPIXの上昇時は、TOPIXを10%程度上回る上昇

＜当ファンドの特性＞

卓越したリサーチ力をもって優良な中小型バリュー株を中心に投資することで、株式市場（TOPIX）の下落時に強く、上昇時には上回るパフォーマンスを実現

（注1）市場追従率は、参照指数（TOPIX（配当込み））の動きを100としたときに分析対象ファンド等がどの程度連動して動くかを示す指標。参照指数の騰落率（月次）がプラス（上昇）か、参照指数の騰落率（月次）がマイナス（下落）かで場合分けを行い、分析対象ファンドの騰落率÷参照指数の騰落率により算出。例えば、参照指数が10%上昇、分析対象ファンドの基準価額が参照指数と同じ10%上昇した場合、上昇時追従率は100%になり、参照指数（TOPIX（配当込み））と完全連動したことを示す。参照指数が10%上昇し、分析対象ファンドの基準価額が15%上昇した場合、市場上昇時追従率は150%。参照指数が20%下落し、分析対象ファンドの基準価額が10%下落した場合、市場下落時追従率は50%。

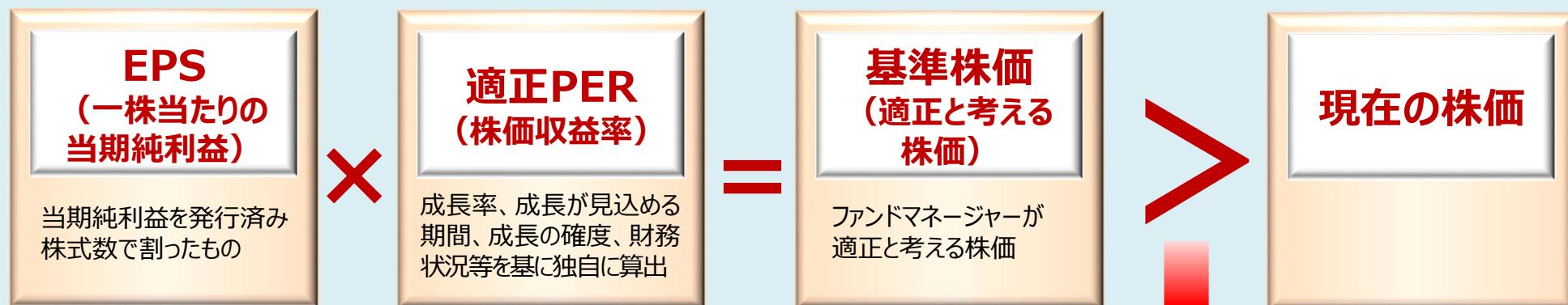
（注2）TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。日本中小型株（公募投信、26本）は、Morningstarによる分類です。

（出所）Morningstar等のデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

バリュー銘柄購入の判断基準

独自に算出する基準株価と現在の株価を比較し、下方かい離率が高く、割安に放置されている銘柄から購入



担当ファンドマネージャーが考えるPERの適正值 (例)

数年間利益成長率が30%以上の高成長銘柄	50倍
普通の安定成長銘柄	15倍
高成長は望めないが業績が下向きでない銘柄	10倍

(ご参考)

2022年2月末現在	TOPIX	ニッポン中小型株ファンド
予想PER (倍)	14.7	8.5
実績PBR (倍)	1.3	0.6

現在の株価が
基準株価より割安

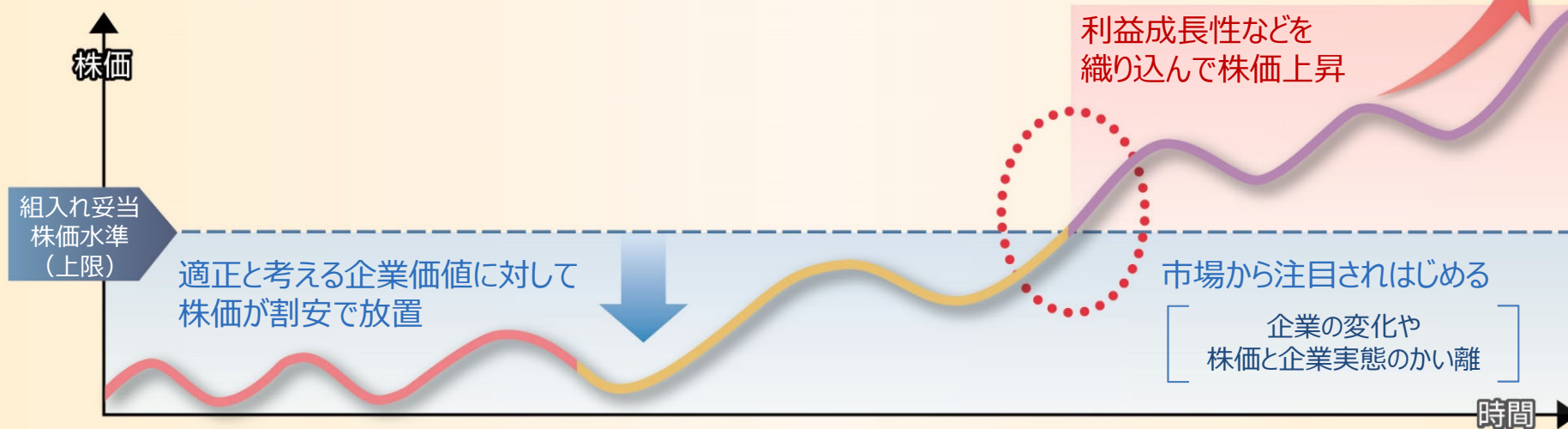
銘柄を購入

※上記は、当ファンドの運用、戦略を簡略的に示したものであり、運用のすべてを表したものではありません。

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

割安銘柄の発掘が良好なリターンの源泉

将来的に株価上昇が期待できる中小型株を見抜きリサーチ力がファンドを支えます。



徹底した
ボトムアップ・リサーチ
(企業調査)

1 圧倒的なリサーチ数

2 幅広い企業へのリサーチ

3 企業トップとのミーティング

市場が見過ごしている
割安銘柄を
発掘・組入れ

市場が株価を正當に
評価 (上昇) するまで
じっと待つ

利益成長および成長の持続性等を勘案した
ファンダメンタルズ価値に対して、
株価水準が割安と判断する銘柄

※上記はイメージです。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

徹底したボトムアップ・アプローチ による銘柄選択

莫大な企業情報の蓄積

1

- 担当ファンドマネージャーは**30年を超える豊富な経験**を有し、日本の上場企業でこれまでに取材した社数は**3,300社**以上、年間**1,000件**近いペースで企業取材を行っています。
(2022年2月末現在)

特定のテーマにとらわれない幅広い企業へのリサーチ

2

- 流動性の低い銘柄を投資対象とすることから、ファンドを安定的に運用するために**常に多くの投資候補銘柄**が必要になります。

企業トップとのミーティング中心のリサーチ

3

- 企業調査の主目的は、**利益成長の確度と実態の把握**です。**企業トップとのミーティング**を重視し、経営、財務の質、業種間の相互比較、市場ニッチ度等を判断します。

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

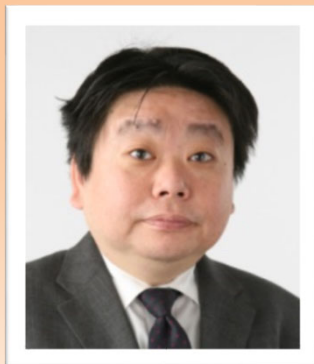
当ファンドを担当する苦瓜ファンドマネージャー

ファンドマネージャー紹介

略歴 (2022年2月末現在)

氏名 **苦瓜 達郎**
にがうり たつろう

証券アナリスト (CMA®)
運用経験年数 : 30年11ヵ月
(国内株式運用18年11ヵ月、
アナリスト12年)



職歴

1991年04月 大和総研 入社
1991年07月 同 企業調査第一部 アナリスト (国内株式担当 : 窯業)
1995年10月 同 企業調査第二部 アナリスト (中小型担当 : サービス)
2002年10月 大和住銀投信投資顧問転籍 調査部 アナリスト (中小型担当)
2003年04月 同 株式運用部 ファンドマネージャー (中小型担当)
2011年04月 同 株式運用部 シニア・ファンドマネージャー (中小型担当)
2016年11月 同 株式運用第一部 シニア・ファンドマネージャー (中小型担当)
2019年04月 三井住友DSアセットマネジメント シニア・ファンドマネージャー (中小型担当)

ファンド受賞実績

Morningstar Award “Fund of the Year 2017” 国内株式中小型 部門 『優秀ファンド賞』

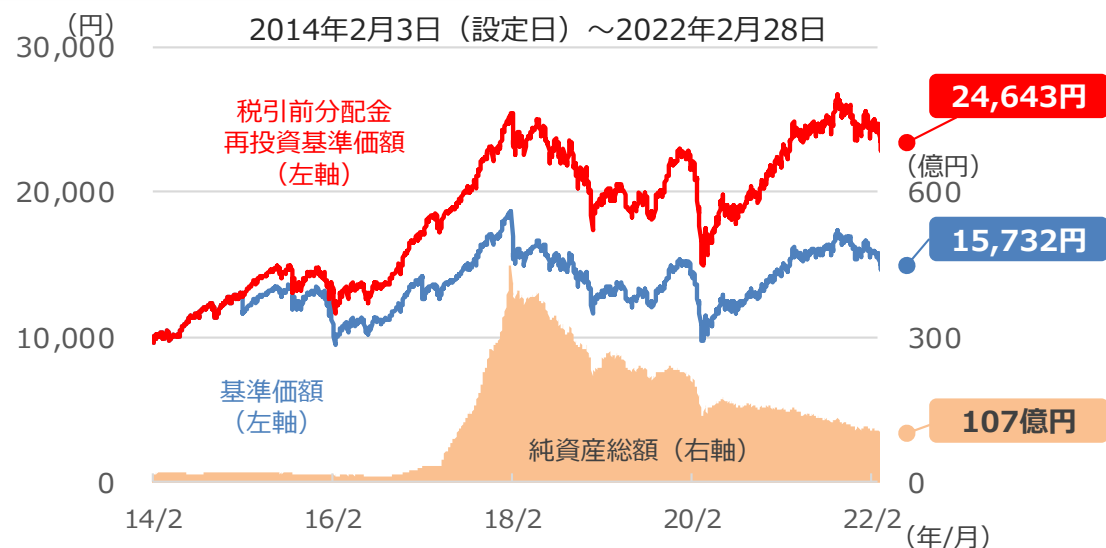
(注) Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式中小型 部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド243本の中から選考されました。

(出所) モーニングスターのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドの運用実績 (2022年2月末現在)

基準価額・純資産総額の推移



分配実績

決算	分配金 (円)
第1期 (15/2)	1,200
第2期 (16/2)	1,200
第3期 (17/2)	1,400
第4期 (18/2)	1,800
第5期 (19/2)	0
第6期 (20/2)	300
第7期 (21/2)	50
第8期 (22/2)	300
設定来	6,250

設定来のパフォーマンス

2014年1月末（設定日の前営業日）～2022年2月末

	リターン (%)		年率リスク (%)	年率リターン/ 年率リスク
	リターン (%)	年率リターン		
ニッポン中小型株ファンド	146.4	11.8	16.5	0.7
TOPIX (配当込み)	84.1	7.8	15.2	0.5
Russell/Nomura Small Cap インデックス (配当込み)	79.6	7.5	15.2	0.5

騰落率

期間	ファンド (%)
1か月	0.9
3か月	4.8
6か月	▲ 1.4
1年	10.8
3年	22.2
設定来	146.4

(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。分配金は1万口当たり（税引前）の金額です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注3) 当ファンドの設定来のパフォーマンス、騰落率は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

(注4) 年率リターンは累積騰落率を年率換算、年率リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算して算出。

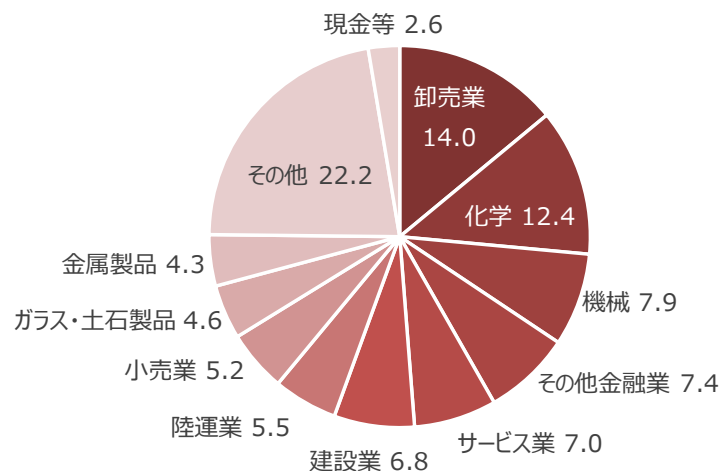
(注5) TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。Russell/Nomura Small Capインデックス（配当込み）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

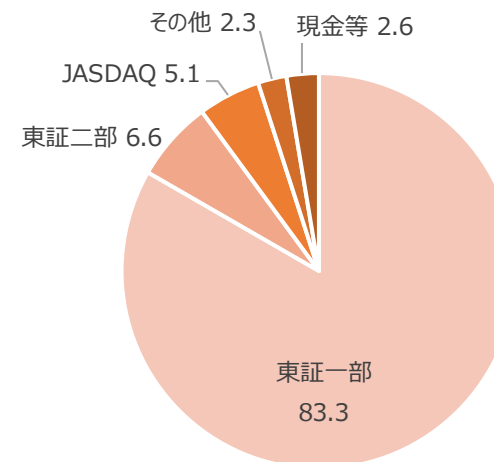
※ファンドの購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは13ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ニッポン中小型株マザーファンド (2022年2月末現在)

組入上位10業種 (%)



資産構成比率 (%)



組入上位10銘柄

<組入銘柄数 192銘柄>

	銘柄	業種	市場	会社概要	組入比率 (%)
1	日鉄物産	卸売業	東証一部	日本製鉄系列の専門商社。13年に日鉄商事と住金物産が合併。鉄鋼を主軸に産機や繊維、食糧も。	4.7
2	ジャックス	その他金融業	東証一部	MUFGの信販大手。オートローン主力。クレジットカード、信用保証を強化。東南アジア進出。	4.4
3	ハマキョウレックス	陸運業	東証一部	独立系の物流一括受託（3PL）大手。伊藤忠と量販店向けで合併。通販向け物流サービス強化。	3.7
4	ビーウィズ	サービス業	東証一部	パソナ系のコールセンター。業務システムの内製化が特徴。	3.3
5	黒崎播磨	ガラス・土石製品	東証一部	日本製鉄系。総合耐火物の大手で、消耗品が主力。インドなど海外提携積極的。配当性向30%。	3.3
6	大紀アルミニウム工業所	非鉄金属	東証一部	アルミ2次合金地金の国内トップ企業。ダイカスト・鋳物用が主力。東南アジアで製販拡大。	3.3
7	T P R	機械	東証一部	ピストンリング日系向け三強の一角。トヨタ新設計TNGA対応加速。シリンダライナ世界首位。	3.2
8	ダイキョーニシカワ	化学	東証一部	インパネやバンパー、バックドアなど自動車樹脂部品製造。マツダ系（7割強）とダイハツ系が主。	3.0
9	リコーリース	その他金融業	東証一部	リコー系。中小企業が顧客基盤。集金代行や融資など強化。20年みずほリースと資本業務提携。	2.7
10	森六ホールディングス	化学	東証一部	樹脂加工製品と化学品商材の2本柱。製品はホンダ向け9割。海外生産を拡充。1663年創業。	2.6

(注1) 業種は東証33業種分類、比率は純資産総額対比、市場は投信協会評価市場ベースで表記。

(注2) 四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。

※東京証券取引所の市場は2022年4月に新しい市場区分（プライム市場、スタンダード市場、グロース市場）への再編が予定されています。

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスク (詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

株価変動に伴うリスク…株式の価格の下落は、基準価額の下落要因です

株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。

流動性リスク…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件で取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です

実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です

株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- 当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

お申込みメモ (詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

※大和証券でお申込みの場合

購入単位	100円以上1円単位 (注) または、100口以上1口単位。 (注) 購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含めて、上記金額とします。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに購入・換金の申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付中止や既に受け付けた購入・換金申込みの取消しをすることがあります。
信託期間	2029年2月2日まで (2014年2月3日設定)
決算日	毎年2月2日 (休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。) ※分配金自動再投資コースを選択された場合は、原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
信託金の限度額	500億円
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA (ニーサ)」の適用対象です。なお、販売会社によっては、NISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。 少額投資非課税制度「愛称：NISA (ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方※で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※20歳未満の方を対象とした「ジュニアNISA」もあります。 ●配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ●上記は作成基準日現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。 ●法人の場合は上記とは異なります。●税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
委託会社およびその他関係法人	委託会社：三井住友DSアセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行う者) 受託会社：三井住友信託銀行株式会社 (ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

ファンドの費用等（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

※大和証券でお申込みの場合

投資者が直接的に負担する費用

<p>購入時手数料</p>	<p>販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。購入金額に以下の手数料率（税込み）を乗じて得た額とします。</p> <table border="1" data-bbox="286 470 810 646"> <thead> <tr> <th>購入金額</th> <th>手数料（税込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000万円未満</td> <td>3.30%</td> </tr> <tr> <td>1,000万円以上5億円未満</td> <td>2.20%</td> </tr> <tr> <td>5億円以上10億円未満</td> <td>1.10%</td> </tr> <tr> <td>10億円以上</td> <td>0.55%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※購入金額 = (購入申込受付日の基準価額 / 1万口) × 購入口数 ※購入時手数料には消費税等相当額がかかります。</p>	購入金額	手数料（税込み）	1,000万円未満	3.30%	1,000万円以上5億円未満	2.20%	5億円以上10億円未満	1.10%	10億円以上	0.55%	<p>(ご参考)</p> <p>●口数指定で購入する場合 例えば、基準価額10,000円のときに100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、購入時手数料 = 購入金額 (100万円) × 3.30% (税込み) = 33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。</p> <p>●金額指定で購入する場合 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込み）をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。</p>
購入金額	手数料（税込み）											
1,000万円未満	3.30%											
1,000万円以上5億円未満	2.20%											
5億円以上10億円未満	1.10%											
10億円以上	0.55%											
<p>信託財産留保額</p>	<p>換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じた額</p>											

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

<p>運用管理費用（信託報酬）</p>	<p>ファンドの純資産総額に年率1.815%（税抜き1.65%）の率を乗じた額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p> <p><運用管理費用（信託報酬）の配分（税抜き）></p> <table border="1" data-bbox="280 1069 2161 1181"> <thead> <tr> <th>委託会社</th> <th>年率</th> <th>対価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率0.80%</td> <td>ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.80%</td> <td>交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.05%</td> <td>ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。</p>			委託会社	年率	対価	委託会社	年率0.80%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価	販売会社	年率0.80%	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価	受託会社	年率0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
委託会社	年率	対価													
委託会社	年率0.80%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価													
販売会社	年率0.80%	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価													
受託会社	年率0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価													
<p>その他の費用・手数料</p>	<p>以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 <p>※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>														

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

重要な注意事項

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載されている場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

作成基準日：2022年2月末

指数について

- Russell/Nomura日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村證券株式会社 及び Frank Russell Companyは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性を保証するものではなく、インデックス利用者およびその関係者が当インデックスを用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 ご不明な点は下記にお問い合わせください。

<コールセンター> 0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

<ホームページ> <https://www.smd-am.co.jp>



三井住友DSアセットマネジメント